

コード	503030201
記入日:	H22.6.10

事務事業途中評価表

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	吉村貴弘

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	上五島体育施設管理運営費
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーション	項コード	6
基本事業コード	50303	基本事業名称	スポーツ施設の整備・充実	目コード	2
事務事業コード	5030302	事務事業名称	上五島体育施設管理運営費	細目コード	
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町体育館条例 新上五島町運動公園条例 新上五島町民プール条例	

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	施設利用者	(対象指標1)	延べ36,621人			
(対象2)	管理施設	(対象指標2)	6施設			
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	上五島地区の体育施設6施設の維持管理を行った。 管理施設 6施設 保守点検回数 26回 浄化槽 消防設備 電気工作物 上郷体育館 12回 2回 0回 青ノ浦照明施設 0回 0回 12回	*****	*****	*****	保守点検回数26回÷計画した保守点検回数26回	*****
①		保守点検回数	26回	100%		平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり実施した。			
*****		*****	*****	*****	*****	*****
②		(達成率分析)				
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
上五島地区住民の健康増進や地域交流の場として利用されている、上五島地区体育施設の維持管理を行うことで、利用者の安全性や利便性を確保することを目的とする。 (管理施設:上郷グラウンド、上郷体育館、上五島中学校夜間照明、青方小学校夜間照明、浜ノ浦小学校夜間照明施設、飯ノ瀬戸体育館)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	開館日数359日÷開館すべき日数359日	*****
		①	体育館利用可能日数	359日	100%	
		(達成率分析)	体育施設については、年間を通して利用できる状態であった。指標については、体育館分を記載している。			
*****		*****	*****	*****	施設稼働時間2,305h÷年間開館時間4,667h÷施設数3÷0.33	*****
②		体育館平均稼働率	16.5%	50%		平成21年度
		(達成率分析)	指標については、体育館の大体育室の年間稼働率を記載している。			

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	88	88	62	26	26					
	②										
成果指標	① 日	1,436	1,436	1,077	359	359					
	② %	33	16.5	16.5	33	16.5					
総事業費C(A+B)	千円	31,751	31,496	21,002	10,749	10,494					
直接事業費A	千円	10,751	10,496	7,002	3,749	3,494					
人件費B	千円	21,000	21,000	14,000	7,000	7,000					
内訳	従事職員数	人	3.0	3.0	2.0	1.0	1.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	31,751	31,496	21,002	10,749	10,494					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 町有施設であり、町が維持管理を行うものである。また、健康づくり、スポーツ振興の場であり、町のスポーツ活動の実践の場である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 町の施設である限り、町が維持管理を行わなければならない。また、スポーツに親しませ、体力づくり、健康づくり、競技力向上は不変的なものである。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 町有施設の維持管理であり、適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 年間を通して利用できる状態ではあるが、利用されていない施設もあり、全体的に施設稼働率は低い。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 施設を見直しで成果を向上することができる。管理施設6ある中で休止・廃止することで経費を削減することができる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 施設の安全性が確保できなくなり、利用者にも多大な影響を与える。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由 町内には多数の施設があり、窓口を1本化することはできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 施設を見直し、廃止・休止することで経費の削減ができる。(現在、飯ノ瀬戸体育館・上五島中学校・浜ノ浦小学校夜間照明施設を休止中)
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 必要最小限度の人件費である。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 使用料は適正に負担している。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在、施設の在り方や統廃合について検討中である。(青方体育館・廃止)
		有効性	施設を見直すことで効果的な解決が望める。
		効率性	施設を見直すことで経費も削減できる。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	施設についてのあり方、統廃合の検討を進めること。方針が出るまでは適切な維持・管理に努めること。
		有効性	施設の維持・管理においては住民の施設使用に支障がないよう、十分留意すること。また、施設の在り方、統廃合の検討は早急に行い、方針を示すこと。
		効率性	施設の在り方・運営方法の見直し等、より効率的な利用により経費の節減を図ること。また施設の管理は適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。